

第44回通常総会開催で業界の未来を注視

全卸連

全卸連は5月18日、第44回通常総会を開催し、本会の中核である卸各社やメーカーから全257名が参加した中で、決算関連や活動内容など全3議案が滞りなく承認を得た。

開幕では全卸連の森友徳兵衛会長(森友通商社長)が挨拶に立ち、持ち前の調子で参加者へ全卸連の現状と今後を語りかけた。まず、直近における全卸連の活動について「業界が抱えている諸問題は、各委員会が真剣に検討を重ねている」と語り、直後に始まる委員長や委員らによる報告や発表への関心を喚起した。



また、森友会長は前年度が全卸連にとって意味深かったことを参加者へ知らしめるため、「将来を見据えた取り組みとして、各委員会の報告が始まると、トップバッターにも、返品削減の意識徹底

立った流通懇談会の芳賀愉一郎委員長(東流社社長)が「流通課題の製・配共有化」と題し、返品削減へ真正面から向き合った活動の経緯と成果を話した。芳賀氏は2015年9月から行ってきた取り組みの成果として、「業界に発生する返品

また、前段で森友会長が事前説明した格好で現れたONE NEXTの村田玲委員長(富貴堂社長)は、「新委員会の活動」と銘打ち、2017年7月の開催で既存の概念を打ち破った展示会が成功

また、前段で森友会長が事前説明した格好で現れたONE NEXTの村田玲委員長(富貴堂社長)は、「新委員会の活動」と銘打ち、2017年7月の開催で既存の概念を打ち破った展示会が成功

第68回定時総会を開催 日本石鹸洗剤工業会

日本石鹸洗剤工業会は5月18日、都内のホテルで第68回定時総会と懇親会を開催し、生活者の衛生的な暮らしに資する事業者らが、新しい年度の指針と活動を確認し合った。



小林会長は、挨拶に登壇した小林明治会長(日油社長)が冒頭で総会が無事に終了したことを告げた後、2017年度の石鹸洗剤等の売上高が前年比3%増の893.6億円となったことを報告。「長雨など洗剤製品にとって厳しい天候だったが、会員社はこの立場で議論している」と進行形の案件に触れ、視点を絞り込んで「アメリカの鉄鋼やアルミの輸入制限措置に対して、WTOの枠組みのもと対象から除外といったことの動きかけをしている」とアピールした。

その根拠となる事例として、同会長は洗濯用洗剤において環境に優しい濃縮型コンパクト製品が、高い洗浄力や衣類の抗菌効果などを訴求して伸長したことを挙げ、顔を揃えた会員社の面々を讃えた。

来賓を代表して挨拶した経済産業省製造産業局大臣官房審議官(製造産業局担当)の上田洋二氏は、同協会が消費者の生活に貢献している側面をひと通り賞賛したのち、取り巻く環境に関して「国際的な動きが非常に急激に変化している」と警笛を鳴らした後、「通商分野に政府としてしっかり取り組んでいきたい」と省庁の立場を示した。

私の H & B 日記

日記

知人が映画「時をかける少女」を見た。アニメではなく、原田知世主演の実写映画だ。著者自身はこの作品にあまり興味はないが、知人は少し珍しい状態でこの作品を見た。80年代の映画はまだフィルムで撮られていた。いかに有名な作品が、昨年初上映された。知人はそれを見に行った。

映画が残すきつね色の「美」

知人が映画「時をかける少女」を見た。アニメではなく、原田知世主演の実写映画だ。著者自身はこの作品にあまり興味はないが、知人は少し珍しい状態でこの作品を見た。80年代の映画はまだフィルムで撮られていた。いかに有名な作品が、昨年初上映された。知人はそれを見に行った。

最近になってから、健康・健全を焼ける傾向だと思ふ。育園やオーガニックの成分がもたらす「美」の話だ。おそろこの肌は肌それ自体の質感を愛することに主眼を置く。UVケアは肌からこそ、多様な化粧品があって良い。(五)

健康・健全を焼ける傾向だと思ふ。育園やオーガニックの成分がもたらす「美」の話だ。おそろこの肌は肌それ自体の質感を愛することに主眼を置く。UVケアは肌からこそ、多様な化粧品があって良い。(五)